

新たなビジネス価値を発信するITビジネスグランプリ Ruby biz Grand prix 2019 最終ノミネート事例の発表 Ruby bizグランプリ実行委員会／島根県

この度、Ruby bizグランプリ審査委員会の選考を経て、国内外33事例、総勢31社のエントリー企業から、10社のファイナリストを決定いたしました。

ファイナリストの中から、12月12日（木）に帝国ホテル（東京都）で開催される表彰式において、第5回グランプリが発表されます。いずれも、スポーツテックや教育、IoT、クラウドサービスなど、「Ruby × イノベーション」をリードする最先端企業が集結。

どの事例がグランプリに選ばれるのか、引き続きご注目ください！

選考の結果、ファイナリストに選出されたのは以下の事例です。

<最終ノミネート事例／ファイナリスト>（記載は50音順）



株式会社ookami

Player!（プレイヤー）

スタディサプリ

Quipper Limited 日本支店

スタディサプリ

cookpad mart

クックパッド株式会社

クックパッドマート



GMOペパボ株式会社

ロリポップ！マネージドクラウド



株式会社ニューロスペース

lee BIZ（リー・ビズ）



Nota inc.

Gyazo（ギャゾー）



株式会社バトンズ

バトンズ



MAMORIO

MAMORIO株式会社

MAMORIO



ユニファ株式会社

ルクミー 午睡チェック



株式会社LegalForce

LegalForce（リーガルフォース）

日時：2019年12月12日（木）10：30～13：00（報道受付10：00～）
表彰式 10：30～12：00 レセプション 12：15～13：00
会場：帝国ホテル 本館3階 富士の間（東京都千代田区内幸町1-1-1）

Ruby biz Grand prix 2019は、プログラミング言語Rubyの特徴を活かして、新たなサービスを創出しビジネスを継続的に展開している事例を顕彰することにより、Rubyによるビジネス展開の優位性を国内外に広くPRし、Rubyでのビジネスチャンスのさらなる拡大を目指します。

※別途、民間の配信サービスを利用し、情報発信する予定です。

Ruby biz Grand prix 2019 概要

Ruby biz Grand prix 2019は、Rubyを活用して、ビジネス領域で新たな価値を創造し、今後継続的に発展が期待できるサービスや商品等の事例を表彰するグランプリです。

ファイナル事例が示すとおり、Rubyを使った開発・ビジネス展開は、Rubyの特徴である生産性の高さや柔軟性によってビジネスに自由度をもたらし、ビジネス上の競争力を生み出します。本グランプリを通して、Rubyがもたらす「パワー」と「イノベーション」を国内外に広く発信します。

- 募集期間 : 2019年6月3日（月）～ 2019年9月13日（金）
- 募集対象 : Rubyを使った自社商品・サービス等で、新規性、独自性、市場性、将来性に富んでおり、今後継続的に発展が期待できるビジネス事例
- 応募資格 : 企業、団体及び個人（任意団体を含む）
- 選考 : 10月末

参考URL: <https://rubybiz.jp>

<審査委員長>

「Ruby」開発者（1993年）
Rubyアソシエーション理事長
まつもと ゆきひろ

<審査委員>

Rubyアソシエーション理事
クックパッド（株）
笹田 耕一

（株）オープンソース活用研究所
代表取締役所長 寺田 雄一

日経BP社 技術メディア局
局長補佐 中村 建助

Ruby アソシエーション評議員
楽天（株）
執行役員 森 正弥

- 表彰 : 大賞2点（表彰状、記念品、副賞100万円）
特別賞3点（表彰状、記念品、副賞30万円）

- 表彰式等 : 日時 2019年12月12日（木）10：30～13：00
表彰式 10：30～12：00
レセプション 12：15～13：00
会場 帝国ホテル 本館3階 富士の間（東京都千代田区内幸町1-1-1）